

植物多様性センターの「虫こぶいろいろ」

野山の植物には様々な虫こぶが見られます。一般に虫こぶとは、アブラムシなどの昆虫やダニなどが植物に寄生することにより、変形した植物の状態をいいます。植物名、寄生した部位、形状、最後にフシとつくのが虫こぶの呼び方です。野山を歩いていて、おやっ!と違和感を感じたら、虫こぶの可能性もあります。不思議な形を見つけると、さらに自然観察が楽しくなりますよ。



ガマズミミケフシ: 名前の通り実にもふもふの毛が生える



モチノキメタマフシ: 実とは別に芽が変化し葉腋にじかにつく



アオキミフクレフシ: 赤く熟さずにいびつで緑色のままになる



カラスウリクキフクレフシ: 不規則な茎はアート作品のよう